

平成28年  
8月

台風で被害に遭われた北海道・岩手の  
皆様に謹んでお見舞い申し上げます

一般財団法人  
日本遺族会

平成29年度 遺族処遇改善項目

平成28年8月31日概算要求	
総給付関係	
1 恩給費	2,839億円
厚生労働省関係(恩給に関連する遺族年金等を除く)	
1 振込年金	112億1,500万円
2 遺骨収集帰還事業の強化	23億1,600万円
(1) 硫黄島遺骨収集事業	13億9,600万円
(2) 南方・旧ソ連地域遺骨収集事業	9億2,000万円
・情報収集(資料収集、未送還遺骨情報収集)	(5億1,800万円)
・遺骨収集実施地域(19地域)	(2億7,500万円)
・法人運営経費	(1億2,700万円)
3 戦没者慰霊事業等	7億200万円
(1) 全国戦没者追悼式挙行経費	1億5,100万円
(2) 慰霊巡拝等	5億5,100万円
・慰霊巡拝実施地域(11地域)	(8,700万円)
・政府建立慰霊碑の補修等	(5,200万円)
・海外・国内民間慰霊碑の管理	(2,600万円)
・遺骨・遺留品伝達	(2,100万円)
・戦没者に係るDNA鑑定	(1億700万円)
・戦没者遺児による慰霊友好親善事業 (広域地域14地域 特定地域3地域)	(2億5,900万円)
4 昭和館事業	7億4,300万円

※百万円単位で四捨五入している。

財務省は、八月末に提出された各官庁の平成二十九年度概算要求の総額を公表した。平成二十九年度予算は、経済財政運営と改革の基本方針を踏まえた上で、引き続き、「経済・社会の持続的発展」の枠組みの下、手を緩めることなく本格的な歳出改革に取り組むとしている。

本会関係では、遺骨収集帰還事業の強化経費が本年度予算額に対し一億八千九百万円増額、戦没者慰霊事業等経費では全国戦没者追悼式挙行経費が本年度予算額に対し一億八千九百万円増額など、戦没者遺族の処遇改善等に關する本会の要請事項が概ね盛り込まれた。

しかし、財務省は年末の予算編成に向けて各官庁の要求を厳しく査定する方針を示している。各官庁に対しては、予算圧縮の要求を厳しく査定する方針を示している。各官庁に対しては、予算圧縮の要求を厳しく査定する方針を示している。

平成29年度 政府予算

遺骨収集 強化経費増額など要望

次年度の概算要求

財務省は九月六日、各省庁が提出した平成二十九年度政府予算の概算要求総額を発表した。一般会計の総額は百一兆四千七百七億円で、前年度より百兆円の大台を越えた。年末の予算編成に向けて厳しく査定する方針で、例年以上に難航が予想される。本会関係では、遺骨収集帰還事業の強化経費増額など本会の要請事項がほぼ盛り込まれた。



平成28年10月15日 第790号

一般財団法人日本遺族会  
〒100-0001 東京都千代田区千代田一丁目六番一七号  
〒100-0001 東京都千代田区千代田一丁目六番一七号  
電話 03-3261-5521  
00160-6-25389  
FAX 03-3261-5522  
00160-6-25389  
発行 毎月1回15日(祝日を除く)  
定価 1部130円(税込)

日本遺族会は國の礎となられた英霊顕彰をはじめ、戦没者の遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

平成28年度 日本遺族会 第3ブロック会議



第3ブロック会議で挨拶する市来健之助本会副会長(左)と10月5日、兵庫県

各ブロック会議を開催

真剣な議論が交わされる

九月から十月初旬にかけて、各ブロック会議が相次いで開催された。本会からは市来川健之助、市来健之助の副副会長が分任して出席した。各都道府県遺族会から正副会長、女性部長等の役員及び、都道府県遺族会代表者が出席し、市来副会長が挨拶を述べた。市来副会長は、戦没者遺族の福祉の増進、慰藉救済の道を開くと共に、道義の昂揚、品性の涵養に努め、世界の恒久平和の確立に寄与することを目的とする。

縮を迫るなど予算折衝で  
は例年以上に激しい攻防  
戦が繰り広げられること  
が予想されている。この  
ため、本会では各支部に  
対し、要請事項の実現に  
向けてそれぞれの地元で  
おける取り組みとして  
「地元選出自民党所属国  
會議員」等に面会し、戦  
没者遺族の処遇改善に關  
する本会の要望に理解と  
協力を求めることにも、  
要請事項が概算要求に引  
き続き次年度政府予算に  
計上されるよう、全国の  
戦没者遺族が総力を結集  
し、運動を展開している。  
※本会が要望した平成  
二十九年度遺族処遇改  
善項目における概算要求  
額は別表のとおり。

声き声

「養虫の生きるも遊び風まかせ」とあった。食欲の秋、読書の秋、芸術・体育と世間では色々言われる中で、一本の糸の先に寝巻をつけ風に吹かれるが自由気ままに遊んでいるのかのように見える養虫。案外「俺だつて結構苦労しているんだぞ」と言い分があるのかも知れない。▼現代の日本人は遺傳情報の約12%を縄文人から受け継いでいる事がわかった。特に北海道のアイヌや沖縄県の琉球人は遺傳的に最も近い事も判明。次に東京周辺など本土の日本人「ヤマト人」と続くという。また縄文人はアフリカから東・東南アジアに移動してきた現生人類の中で最も古い2〜3万年前に分岐した集団ともわかり、そしてこの日本列島で独自の進化を遂げたと推測できるという。▼そんな中、北方領土返還に進展が期待される。安倍首相とプーチン大統領の会談の日が12月へ急接近した。戦後71年が過ぎ、未解決の不法占拠が続き、未解決の懸案であった問題に一筋の光明がさした。外務省発表がせめても頻繁な首脳会談を通じて解決を図ろうとする姿勢は大きな評価に値する。終戦時1万7000人が住み、縄文人のDNAを受け継いだ日本固有の領土。日本への帰属が確認され、一歩でも二歩でも返還に向け進展する事を心から願うものである。(A)

なお、第四ブロック会議は九月六日、徳島市サグラドホテルで、第五ブロック会議は九月十四日、十五日、沖縄県口ワジール那覇で、第二ブロック会議は九月二十一日、仙台市ホテル法華クラブで、第二ブロック会議は九月二十六日、二十七日、神奈川県横浜賀正センターホテルで、第三ブロック会議は十月五日、六日、兵庫県姫路日航ホテルでそれぞれ開催された。



3-4月 御祭神37,800余柱、秋田縣護國神社

平成二十九年版 靖國カレンダーを 家庭にかかげましょう

●申し込み方法  
維持会費 一口五〇〇円(送料別途を添えて)

①英霊に代える靖國カレンダー業務室 〒100-0001 東京都千代田区九段北三丁目一丁目 靖國神社遊就館内 電話03-3261-6404 FAX 03-3261-7415  
http://ehreinkorenkai.comのいずれか

②別途申込書で、お住まいの「英霊」に代える会都道府県本部宛。宛先は「一部」から取り扱っており、送料は前記「都道府県本部」または「靖國カレンダー業務室」にお問い合わせ下さい。

英霊の御心を 次の世代に伝えましょう

●送付先  
維持会費は左記宛に送金願います。  
郵便局 郵便振替  
口座番号 〇〇一六〇一七七〇四  
口座名 英霊に代える会  
靖國カレンダー業務室

# 事務局長・職員研修会開催

## 遺族会の諸問題を議論

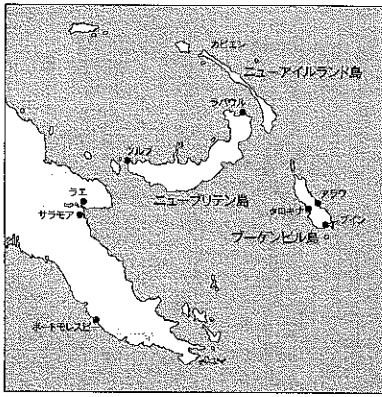
九月二十八日、東京都遺族連合会が主体となり、東京都文京区の「東京ガーデンパレス」に全国二十八道府県から三十八人が参加し、平成二十八年度支部事務局長、職員研修会を開催した。研修会では、英霊顕彰・処遇改善運動や国内慰霊碑、遺骨収集等、遺族会に山積する懸案事項について活発な意見が交わされた。

全国の事務局長、職員、り挨拶に立ち、二十八都道府県の方々に参加いただき感謝します。本会にはまだ山積する諸問題があり、特に後継者の育成は急務であり、戦争の記憶を風化させることなく、戦争の悲惨さ、平和の尊さを後世に伝えたい。役割を担う組織として、平和の尊さを後世に伝えたい。役割を担う組織として、平和の尊さを後世に伝えたい。

### 海外未送還遺骨情報収集事業

#### パプア ニューギニア 各地で遺骨を収容

日本遺族会は、厚生労働省の委託事業である海外未送還遺骨情報収集事業のビスマーク・ソロモンニアへ派遣し、残存遺骨を諸島地域第一次及び第二



二次調査団と、東部の調査団をパプアニューギニアへ派遣し、残存遺骨を諸島地域第一次及び第二



支那事務局長を代表して挨拶する山田事務局長協議会幹事長=9月28日、東京ガーデンパレスで

された。最後に、引き続き本部、支部が連携強化を図り、懸案事項解決に取り組んでいくことを確認した。

### 厚生労働省主催 硫黄島掘削立会事業実施

厚生労働省は、硫黄島掘削立会事業の第五回掘削立会を六月二十九日から七月十四日、第六回を七月十三日から二十八日、第七回を七月二十七日から八月九日、第九回を九月五日から十五日の日程で実施し、本会からは各派遣団に、硫黄島の遺骨収集事業に参加した経



掘削場所の深さを測定=第五回掘削立会で

掘し、歯の治療痕などから日本兵と判断される推定一柱を確認、収容した。今回本事業で初めての訪問となるシワイ地区とバナ地区は、タロキナと同様ブーゲンビルの激しい戦闘があった地域で、秦州戦争記念館に保管される資料や生還した戦友らの証言などにより、秦軍による戦場整理の一環で行われた集団埋葬の情報が多くの地域である。調査団は今後の調査の基盤作りのため各村落を調査し、住



試掘で発見したカメラ、ボタン等の遺留品と金歯や頭骨などの遺骨=8月31日、ブイン地区ムダグアイで



ムボ方面を踏査するヘリコプターからの光景=9月10日、モロベ州で

### 東部ニューギニア

東部ニューギニア地域第二次調査団二入は、九月七日から二十一日の期間、モロベ州サラモア、カミアタム、サラワット山系方面等を調査した。

調査団は、ニューギニア島では、ツルブ地区周辺の村に民泊しながら調査し、シカ村で平成二十五年から継続して遺骨を収容している埋骨地を村人十五人が作業員として協力してくれ、二日間かけて収容作業を実施した結果、二十一柱を収容した。この他、バンバツク村で村人が村の敷地内で発見し保管していた遺骨十二柱、ワレモ村で一ニイホールの一室に安置している。

### ビスマーク・ソロモン

第二次 調査団は、ワウからサラモアに至る激戦地であった。現地の一時保管場柱で、現地の一時保管場所に安置し、今後政府主催の掘削立会に受領した。

現地住民の協力を得ての収容作業=9月20日、ニューブリテン島シカ村で

好業 友事 霊善 慰親

# 亡き父の冥福祈る

## 一二地域十二箇所で慰霊祭

日本遺族会では九月、厚生労働省より補助金を受けて実施している「戦没者遺児による慰霊友好親善事業」の西部ニューギニア、マリアナ諸島地域をそれぞれ実施した。亡き父の眠る地において、西部ニューギニアでは五箇所、マリアナ諸島では七箇所で、心ゆくまでの慰霊追悼を行うとともに小学校や病院等を訪問し友好親善に努めた。

### 西部ニューギニア

西部ニューギニア慰霊友好親善訪問団(団長・中井靖教本会理事他十三人)は九月八日、東京・靖国神社内の靖国会館で結団式を行い、七十年来の積年の思いを胸に翌日、羽田空港を出发した。同日、パリ島のデンパサルに到着した一行は、セレス島のマカツサルに移動した。

九月十日、ソロン経由でマノクワリに到着。市内の野戦病院跡で訪問団初の慰霊祭を行った。その後、ジャヤプラのクタバル、サルミ、ピアク島の西洞洞、旧サバール部においてそれぞれ慰霊祭を行い亡き父たちの冥福を祈った。

十四日、ピアク島にある日本政府建立の慰霊碑で全戦没者追悼式を挙行。ご英霊に感謝の誠を捧げた。また、ジャヤプラの病院とピアク島の小学校を訪問し、車椅子やサッカーボール、縄跳び、学習用品、衣類等を寄贈し、

現地の方々と交流を深めるなどして友好親善に努め、九月十七日、所期の目的を果たし無事帰国した。マリアナ諸島

マリアナ諸島慰霊友好親善訪問団(団長・佐藤洋孝本会副団長)は、九月二十三日、全国の遺児代表士十八人が靖国会館に集合し結団式を行い、靖国神社で祈願参拝後、前泊の成田へ移動。翌二十四日、亡き父の眠るマリアナ諸島に向け出発。最初の訪問地グアム島に到着した。

一行は、グアム島の本田台、テナン島の西ハゴイ地区、タガハウスパーク、カロリナス、サイパン島のタポーチヨ山、地獄谷、サイパン神社を巡りそれぞれ慰霊祭を執り行い、亡き父に積年の思いを語りかけ、共に散華された英霊の冥福を祈った。

二十八日午前には、サイパン島の障害者支援施設を訪問し、車椅子等を寄贈し現地の方々と友好を深めた。同日午後、サイパン島マツビの「中部太平洋戦没者の碑」前において、在サイパン領事事務所松村敏夫領事参列のもと、全戦没者追悼式を挙行し、中部太平洋諸島及び周辺海域で戦没された英霊に感謝と追悼の誠を捧げた。同夜、松村領事、障害



障害者支援施設を訪問し、車椅子等を寄贈し友好を深める  
=9月28日、サイパン島で

### 慰霊友好親善事業

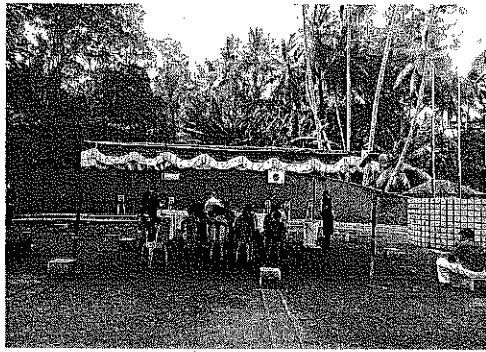
#### 遺児の参加者募集

募集要項は次の通り  
▼地域及び時期 実施  
(平成二十二年以前参加者は二回目の応募が概要参照)  
▼参加費 10万円  
▼参加資格 戦没者の  
▼その他 集合場所  
遺児 五年を経過した方  
平成二十二年以前参加者は二回目の応募が出来る。  
各都道府県遺族会事務局

は、東京等に集合し、結団式及び渡航に係る説明会を行う。なお、集合場所及び解散場所から自宅までの交通費、帰国時の宿泊代、渡航手続手数料等は個人負担となる。  
▼申込方法 在住する各都道府県遺族会事務局

参加者の資格審査に当たり、申込書の記入項目の全てに記入を要するのので、事前に申込用紙を取り寄せていただき、記入項目に不明な点(戦没者の部隊名等)があれば各遺族会に相談し条件を満たしたうえで提出願いたい。なお、申込多数の場合は選考となる。

また、巡拝地域や実施時期等は、相手国や交通機関等の事情で変更、延期または中止となる場合があるので、予めご了承願いたい。



日本政府建立の慰霊碑前で全戦没者追悼式を挙行  
=9月14日、ピアク島で

### 実施概要

実施地域	実施時期	募集人員	申込締切
1 台湾・パシール海峽	平成29年2月1日～2月7日	15人	12月1日
2 西部ニューギニア(2次)	平成29年2月4日～2月11日	42人	12月5日
3 ミャンマー(2次)	平成29年2月14日～2月23日	60人	12月14日
4 フィリピン(2次)	平成29年3月1日～3月8日	120人	1月10日
5 中国	平成29年3月21日～3月29日	60人	1月23日

実施地域	実施時期	募集人員	申込締切
1 西部ニューギニア	平成29年1月19日～1月28日	36人	11月21日
2 ビスマルク諸島	平成29年2月4日～2月11日	36人	12月5日
3 マーシャル・ギルバート諸島	平成29年3月11日～3月19日	36人	11月11日

※別の選択はできませんのでご了承願います。

### 本会への賛助金のお礼

本紙(同面)でもお願している本会への賛助金につきまして、ご賛同いただきました左記の方々に對し、お礼申し上げます。  
なお、大変致謝ではございますが都道府県名については、送金方法により居住地が特定できない場合がありますので、省略させていただきます。  
賛助者名(敬称略)・カタカナ名は銀行振込、漢

字名は現金書留等) 九月一日から九月末日まで  
富山県立山町遺族会 田支郎 松本泰郎 上海 田支郎 大本榮一 幸石 賢一 藤井忠久 小林林夫 福井春枝 下村貞次 郎 轟山 田宮清美 富山 山崎朝子(以上、ありがと)ございました。

本会事業参加者の皆様へ  
本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報には「個人情報保護法」の定めにより、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針につきましてはホームページを参照されるか、本会にお問い合わせください。

靖国神社御創立  
百五十年記念事業

奉仕のお祈り

靖国神社は平成二十二年に御創立百五十周年の節目を迎え、五十年の御創立を記念事業を実施し、崇敬者各位の支援をお願いしております。

このたびの記念事業では、次の二つの事業を中心に行います。

- ①本殿修葺・宮内事務室改修工事
- ②(冷房)の設置・エレベーターによるバリアフリー化(前段補修)
- ③(靖国会館)内装改修・休憩所設置工事
- ④「外苑整備工事」

つきましてはご遺族・崇敬者各位をはじめ幅広い国民の皆様方のご賛同を賜り、この記念事業へのご奉賛と共に、崇敬者会へも併せてご入会いただきますようお願い申し上げます。

●記念事業ご奉賛金及び年会費  
一口金五、〇〇〇円(何円でも可)クレジットカードでの振込も可  
●記念事業ご奉賛金  
二十、五十、一〇〇、二百、五百、一、〇〇〇円  
●奉仕期間 平成三十一年十二月末

靖国神社 崇敬者会事務局  
〒101-8246  
東京都千代田区外神田三丁目一番一  
電話 〇三(三六)二八四三番

本会への賛助金のお礼

本紙(同面)でもお願している本会への賛助金につきまして、ご賛同いただきました左記の方々に對し、お礼申し上げます。  
なお、大変致謝ではございますが都道府県名については、送金方法により居住地が特定できない場合がありますので、省略させていただきます。  
賛助者名(敬称略)・カタカナ名は銀行振込、漢

字名は現金書留等) 九月一日から九月末日まで  
富山県立山町遺族会 田支郎 松本泰郎 上海 田支郎 大本榮一 幸石 賢一 藤井忠久 小林林夫 福井春枝 下村貞次 郎 轟山 田宮清美 富山 山崎朝子(以上、ありがと)ございました。

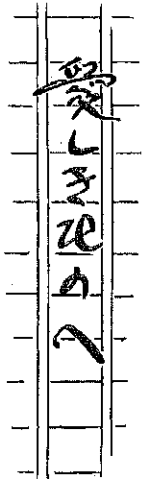
本会事業参加者の皆様へ  
本会の事業に参加するに当たり、得た個人情報には「個人情報保護法」の定めにより、厳重に扱います。日本遺族会の個人情報保護方針につきましてはホームページを参照されるか、本会にお問い合わせください。

# 秋田、大分で日章旗返還

## O B O N ソ サ エ テ イ

日本遺族会は、戦中・戦後海外に流失した寄せ書きの丸など戦没者の遺品の返還活動を続ける米国の N P O 団体「O B O N ソ サ エ テ イ」に協力している。今回 O B O N の活動を知った元米兵の子供たちから日章旗の返還の依頼があった。持ち主の本籍地である秋田県と大分県で調査が行われ、それぞれ遺族が判明し、日章旗は無事に返還された。

秋田県では、一九四五 旗を調査し、秋田県遺族で行われた遠征式で、栗年、フリービン・ルン連合会の協力で遺族が判明した。八月八日、大仙市役所さん(88)は「日章旗が唯



### 比島より

陸軍司政官 石坂 捨三  
昭和十九年十二月十四日  
フリービン・ルンにて戦死  
新潟県新発田市宇野屋町出身 三十七歳

今日、靖国神社大祭につき遠征式を行った。常夏の比島も今日は珍しく一日雨降り、内地の秋の様な涼しさである。

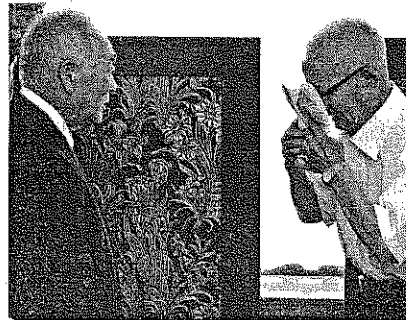
さて、その後当方相姿はらず元気で勤務してゐる。承知の通りマニラ爆撃も数回あり、比島周辺には敵がうるついでゐるが、我に必勝の確信あれば、今更驚くことはない。毎日落ち着いて仕事をしてゐる。内地はそろそろ秋風が立つ頃と思ふ。健康に留意し益々元気で戦後を守る様、祈つてゐる。五十嵐様始め隣組の皆様にもよろしく。

十月二十三日  
ミツ子殿

(原文のまま)  
愛しきものへ  
平成二十八年十月靖国神社社頭掲示

戦後七十一年を過ぎ、兄はやと故郷に帰つてきた」と涙を流した。日章旗を保管していた米カリフォルニア州在住のクリス・スパーナーさんは、戦地から持ち帰った元米兵の父親から譲り受け、O B O N の活動を

知り返還を依頼した。スパーナーさんは「日章旗は尊いもの。遺族の元に返ることを心からうれしく思う」と述べた。大分県では、一九四五年にフリービン・ルン



戦死した兄の日章旗を受け取る相馬貞治さん＝8月8日、秋田県大仙市で

鳥で戦死した小関節三郎の出征に際し、地球民や家族らが寄せ書きした日章旗の調査が行われた。保管していたのは、米ノースカロライナ州の元海兵の子供で、O B O N に日本の遺族への返還の相談があった。大分県遺族会連合会、旗の上部にある日田市の大原八幡宮の朱印などを手掛かりに調査し、日田市天瀬町に住む弟の小関清一(90)を探し当てた。

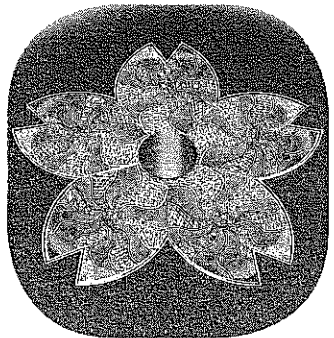


大分県靖国神社での日章旗返還式＝9月1日、大分県大分市で

### 靖国神社からお願い

靖国神社では、平成三十一年に御創立百五十年を迎えるにあたり、本年一月より記念事業を実施してまいります。本記念事業は「本殿・拝殿・霊堂・薄雲安殿開運工事」靖国会館内装改修・休憩所設置工事「外苑整備計画」の三事業が根幹となっております。

また外苑整備計画の一環として、全国の遺族会の想いを形にすべく、鎮魂の祈りを込めて御祭神の故郷である全国の都道府県より採取した花を用い、現地の窯にて桜の花弁をモチーフとした「陶板」を焼成、九段の地に集めます。この様に「日本が誇る伝統と文化、過去から未来へとつなぐ御祭神への祈り」を一片一片の陶板に込めていきます。



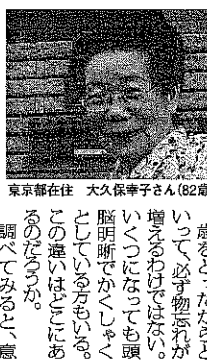
桜の花をモチーフとしたいざないプロジェクト「さくらの陶板」

いと考えております。この陶板を「いざないプロジェクト」における参拝者の道標として外苑に据え、更に照明があらわれ、参拝者はその間を進み拝殿へと向かいます。尚、各県の紹介部分には奉納者として遺族会名を刻み、平成三十一年四月完成の予定。

- ▼福島県 9月16日 平成28年度小田山霊堂慰霊祭(430人)
- ▼徳島県 9月17日 24日、各ブロック会議を開催。17日、南部ブロック研修会(140人)、18日、東部ブロック研修会(80人)、24日、西部ブロック研修会(120人)
- ▼滋賀県 9月25日 平成28年度滋賀県戦没者遺族大会(837人)
- ▼青森県 9月22日 平成28年度青森県戦没者遺族大会(1300人)
- ▼群馬県 9月14日 創立70周年記念式典・記念講演(1000人)

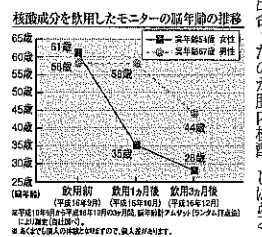
「九段短歌」は都合により休載いたします

## 物忘れが増えたら要注意!!



東京都在住 大久保幸子さん(82歳)

歳をとったからといって必ず物忘れが増えるわけでもない。いくつになっても頭脳明晰でかくしゃくとしている方もいます。この違いはどこにあるのだろうか。調べてみると、意外な事実が分かった。「人間の脳細胞は年齢とともに減少し、再生しない」と、百年にわたる信じられてきた定説が覆された。一九九八年、アメリカとスウェーデンの研究チームは、学習に関わる脳細胞が大人の脳内で新たに作られていることを確認。また、日本とアメリカの共同チームは、脳細胞に必要な栄養を与えることで脳細胞の増殖・分裂に成功した。つまり、老化によっておとろえてしまった脳も若返るというわけだ。そこで、注目されているのが核酸。核酸が主原料の健康食品を摂取したモニターの脳年齢を調べてみたところ、なんと八七・五歳の被験者の脳年齢が若返ったという。



あなたの脳年齢は  
何歳ですか?

0120-04-9898

脳内核酸  
6,500円(税別)

脳年齢測定  
1345円

脳年齢測定  
1345円

脳年齢測定  
1345円